



多摩湖一周ウォーキング

(2017. 11. 11)

新年度を迎えて

支部長 今井 康之(昭32年経営)

新年度を迎え、校友の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

当地域支部は今年で設立七年を迎えることが出来ました。これも会員相互のコミュニケーションはもとより、地域の皆様はじめ近隣地域支部の皆様とも連携し活動させていただいた結果と確信しております。

一昨年の「五周年コンサート」をはじめ、「石田波郷俳句大会」運営のお手伝い、清瀬の自然を守る会主催の「野鳥観察会」への参加。また、地域の皆様も多数ご参加いただく恒例の「多摩湖一周ウォーキング大会」、「麻雀大会」等を開催しております。

昨年は新たに「東京湾クルーズ」を企画し夏の一日を楽しみました。

更に上部組織の多摩支部主催の「箱根駅伝予選会」の応援です。残念ながら予選会通過は叶いませんでした。また、血沸き肉躍った「明早ラグビー」の応援、「六大学野球」の応援等盛りだくさんの企画に参加して参りました。

一方、毎月開催の懇談会では常に新たな企画を検討しております。懇談会後の誕生会を兼ねた懇親会をはじめとして今人気の「プレバト」にも勝るとも劣らない「紫紺句会」を毎月開催し、日夜脳トレに励んでおります。今や母校は女子高校生の進学希望ナンバーワンとなりました。

駿河台キャンパスをはじめ、中野キャンパスも、より一層華やかになってきています。

これからの課題として、女性会員の加入をはじめ新規会員の加入促進を図っていきたく考えています。

そして打倒帝京を目指すラグビー応援、箱根駅伝への復活をご一緒に応援しましょう。

平成二十九年年度の活動を振り返って

幹事長 粕川偉三男(昭48年政経)

今年には地域支部設立七年を迎えますが会員一同、十年に向けて日々張り切って活動しております。

平成三十年年度の総会を前に昨年度の活動を振り返ってみたいと思います。

定時総会では各事業を設定し、活動して参りました。定例の月一回の役員会は、より一層会員の皆様のご参加し易いように「懇談会」とその名称を改めました。

「懇談会」後の「懇親会」では従来通り、各月の誕生会を兼ねた充実したコミュニケーションの場になってきたと確信しております。

更には「紫紺句会」も丸三年を過ぎ、活発な句会の場合となっております。いずれ名人、宗匠が誕生するのは間違いありません。校友以外の地域の方々、近隣の校友の方々をお迎えし充実した活動を行っております。

昨年は新たな試みとして、「東京湾クルーズ」を企画し地域の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、隅田川の夏の一日を楽しみました。清瀬に戻り、乾杯したビールの味は格別でした。

更に、上部組織の多摩支部一体となって母校のスポーツ応援などにも積極的に参加して参りました。

四月四日(水)にお花見を兼ねた「清瀬水再生センター」見学会が実施されます。

そして五月十九日(土)には清瀬地域支部の総会と懇親会を予定しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。



地域支部組織拡充について

組織部長 島崎 光(昭31商)

清瀬地域支部は設立七周年目に入りました。次なる十周年に向けて、引き続き会員相互の親睦と交流、併せて地域社会に貢献することを図って行きたいと思っております。

会報にも掲載しているとおり、各担当役員のご努力により、市民活動との交流、近隣地域支部との交流等、次第に充実しつつあります。

これ等の活動は広報活動が重要で担当役員が頑張っておりますが、会員各位の協力も必要です。是非とも皆さまの参加をお願いしたいと思います。

また、新会員の加入促進も重要な課題です。清瀬市在住の卒業生は四二〇名程ですが(毎年数十名の転出入があるようです)会員は七十五名程です。会員募集は、市内在住者全員を対象に行ってきましたが、仕事の関係等でなかなか参加いただけないのが実情です。現在会員百名を目標にしています。

毎年数名の方が入会されますが、殆どの方が市民活動や市報を見て入会いただいたと伺っており、広報活動の重要性を認識させられています。

会員の懇談会出席は、随時でも毎月でも結構です。是非ご出席ください。

◎明大校友会地域支部懇談会

一、日 時 毎月第二日曜日十三時三十分から

二、会 場 郷土博物館会議室または生涯学習センター六階(駅前アミュー)

(会場は借室のため毎月変更することがあります。お問合せください。)

三、問合せ 幹事長 粕川偉三男

家族で楽しんだ忘年会

山岡幹一郎(平11文)

平成十一年文学部史学地理学科(西洋史専攻)卒業の山岡幹一郎と申します。

昨年末、十二月十日(日)に「魚久」で開かれた忘年会に参加させて頂きました。

忘年会では、諸先輩方に優しく受け入れていただき、二年ぶりの参加でしたが、とても楽しく過すことができました。

ところで、我が家では「魚久」で月に一度くらい食事をするのですが、三歳になる長男がそれを覚えていたようで、会場に突然乱入してきました。

それを追いかけてきた妻と次男とで家族四人で忘年会に参加する形になってしまいました。

突然の乱入にも拘わらず、これまた優しく受け入れていただき、子供たちにとっても楽しい時間となりました。和気あいあいとした雰囲気の中であつという間のひとときでした。

私は、清瀬市に引っ越してきて十年以上たちますが、市内に知り合いが少なかつたこともあり、明治大学OB会が清瀬市にできてこうして参加できることは、とてもありがたく感じております。

若輩者ではございますが、

会に微力を尽くせばと思

っております。

今後とも宜しくお願



全国校友沖縄大会

永代 達三(昭48政経)

「第五十三回明治大学全国校友沖縄大会」は平成二十九年十一月十八日(土)に「宜野湾市沖縄コンベンションセンター劇場棟」にて記念式典、記念講演会が全国の校友支部、大韓民国支部など九百人の校友とその家族が一堂に会し盛大に開催されました。

本会は沖縄県が本土復帰四十五周年に当たり、さらに発展を遂げた沖縄県を全国校友に見てもらいたいとの思いから開催されたと聞きました。沖縄県支部の熱い思いを感じる大会でした。東京都多摩支部からは西山支部長をはじめ二十九人が参加しました。

記念式典は大会旗の入場で始まり、宮里沖縄県支部長の歓迎の挨拶、向殿校友会長の挨拶があり、柳谷理事長、土屋学長から祝辞、翁長沖縄県知事(副知事代読)他から来賓祝辞。さらに次回開催県の安井石川県支部長が全国の支部長を代表して挨拶、無事終了しました。



記念講演会は基調講演として「琉球王国とアジア諸国との交流」のテーマで高良琉球大学名誉教授から海洋国家としての琉球の役割と活発な交易について講演。続いて「琉球・韓国の舞踊における比較研究と共創」のテーマで本学の波照間情報コミュニケーション学部准教授が行い、実演として自らも参加し、琉球古典舞踊、韓国創作舞踊、日韓両国の共同舞踊が行われ会場から盛大な拍手を受け終了しました。懇親会は「ラグナガールデンホテル羽衣」で行われました。琉球舞踊が舞台上で行われるなか懇親会が開始されま

した。

平敷沖縄県教育省の歓迎のあいさつに続き泡盛樽鏡開きが大学役職者、校友会役員が参加し行われ、向殿会長の乾杯、余興として空手演武、エイサー演武と続き、次回開催石川県のビデオPRの後、応援団OBによる校歌斉唱を参加者全員で肩を組み声高らかに歌い上げ盛会裏に終了しました。

私は参加しませんでした。前日の十一月十七日に沖縄県営平和記念公園内の島守棟において本学校友で終戦時に沖縄県警察部長であった「荒井退造」氏の慰



霊祭が向殿校友会長、土屋学長はじめ関係者が出席し、しめやかに行われました。荒井氏は時の島田沖縄県知事とともに沖縄戦の際、多くの県民を県外や北部へ疎開させ、太平洋戦争の戦火から二十万人の県民を救ったといわれています。残念ながら知事と共に行方不明となっています。沖縄県に行った際は、是非訪れては如何でしょうか。

大会翌日、訪れる予定でしたが、残念ながら突風のため平和記念公園は入場中止でした。

大会参加のため、当日、早朝羽田空港に着くと高校生で一杯でした。この時期は修学旅行シーズンとのことで飛行機内も後半は高校生が同乗して賑やかな飛行となりました。

大会翌日は慶良間諸島を周遊する予定でしたが、波が高く、船が欠航となりました。飛行機の時間変更が出来ず帰りの飛行機便に合わせ、関係者二人で六時間観光タクシーをチャーターし首里城、ひめゆりの塔などを沖縄観光し、前夜の深酒にも関わらず、昼食にモズクそばで一杯。ゆっくり過ごしてきました。

地域活動に参加

丸山 隆(昭40経営)

明日から、フリーだ、どうしよう!! 今までやれなかったことをやろう! ボランティア活動をやろう! かと考えました。

七年前二〇一一年四月で引退した私は、清瀬で家族以外に前の家の「おばあちゃん」と、行きつけの「床屋」のマスターとしかしゃべった事がありませんでした。そこで、まず時間つぶしに市報を見て無料で行ける講座、催し物、その他、なんでもやってみようと思いい、「男性料理教室」「健康大学」「清瀬で英語しゃべらん会」「各種展覧会」「シニアカレッジ」等々に参加しました。そして月初めに予定で埋めつくされたカレンダーを見る事を生きがいの一つにしてみました。更に、「清瀬、川づくりの会」、清瀬国際交流会の「日本語教室」、料理教室の延長で「あけぼの子供食堂」、「健康づくり推進委員」その他社協の各種ボランティア活動に追われるようになっていきます。一時、『清瀬で百人の新しい知り合いをつくらう』を目標に頑張り今ではそれに近づいています。いろいろな経験をお持ちの方と交流がもてました。そして「肩書なしの」仲間と新しい関係を保ち、新しい経験をjする事は、わずらわしく、難しい事もありますが、これからの私の新しい財産になるでしょうし、認知症の予防にもなると思っています。当初、清瀬の町を歩いても知った人がおらず馴染めなかった町も、駅に行くまでに三人も四人も挨拶を交わすようになり愛着を感じるようになりました。清瀬はご存じのように人口七万四千人の小さな、田舎町です。たたけばすぐ響く良いところがあると思います。私は、清瀬でいわゆる「私の居場所」創りをしています。後五年はボランティア活動、その後は自分の趣味を生かした事を中心に行っていきたいと考えています。……どうなりますやら。それには、健康な体と家族の協力が必要と実感しています。

わが故郷「岡山」

和田 人男（昭33法）

岡山駅前広場では、伝説のヒーロー「もも太郎像」が優しく出迎えてくれます。

岡山は、気候温暖で、晴天の日が多く、地震や台風などの災害も少ない県です。とくに春には桃の花に囲まれ、夏から秋にかけて白桃、マスカットと香り高い果物に包まれます。また、岡山平野は黄金波うつ米どころでもあります。

米といえば、ササニシキ、コシヒカリの名が浮かんできますが、それよりも味がよいと岡山っ子が誇るのは『アサヒ』。酒米となつて一般の食卓にはのぼらないものの『オマチマイ』の素晴らしい美粒のお米です。一度じっくり味わってみてはどうでしょうか。

岡山県は、古くは吉備国といわれていましたが、その後備前、備中、備後、美作の四カ国に分割、ご存じの幕末の廢藩置県により、備後地方を除いて岡山県とされ現在に至っています。

それでは、岡山県の観光スポット等を簡単に紹介しましょう。



岡山城



駅前「もも太郎像」

○後楽園と岡山城（岡山市）

ひろびろとした緑の芝生と松林、美人の眉を思わせる操山や岡山城を背景とした後楽園は、水戸の偕楽園金沢の兼六園とともに日本の三名園と称されています。南門から旭川にかかる月見橋を渡れば岡山城で、西国の雄藩らしい城郭の偉容が天空にそびえ立っています。



後楽園

○竹久夢二と晋待草の里（邑久町）

明治十七年造り酒屋の次男として誕生、本名茂次郎。『待てど暮らせどこぬ人を・・・』大正から昭和にかけて夢みるような夢二式美人を描いて一世を風靡した詩人。吉井川の東岸、千野平野を抜けるあたりに、永遠のロマンを秘めた竹久夢二の生家があります。

○備前焼と日本の六古窯（備前市）

平安時代が終つて朝廷の権力が失われ、須恵器を作っていた陶工たちが失職しました。しかし、須恵器が硬く焼きしめられ長持ちする器だったことから、庶民の日用品として人気を呼び、それまでの土師器に代わつて日常生活の中へ浸透したのでしょうか。

『六古窯』というのは、瀬戸、常滑、信楽、丹波、越前、備前という古い窯場のことです。

○大原美術館と瀬戸大橋（倉敷市）

昭和五年、大原孫三郎が建築したギリシャ神殿風の本館に十七世紀以降現在までの世界画壇の名画を陳列、更に、工芸館と本館があります。

瀬戸大橋は、昭和六十三年春に完成。本州と四国を結ぶ多島海に映える夢の架け橋です。

○宝福寺（総社市）

室町時代の画聖、雪舟が少年時代修業したといわれる臨済宗の寺。絵ばかり描く雪舟を和尚が罰として柱に縛りつけたところ、流した涙でネズミの絵を足を使って描

き、そのネズミが動きだして雪舟を縛っていた縄をかみきつたという話が伝えられています。

○備中松山城（高梁市）

川霧のたちこめる山峡の高梁市は、高梁川の清流に沿った帯状の長い町並みです。市の北に位置している臥牛山の南稜には、典型的な「山城」として知られている「備中松山城」があります。元禄七年、幕府から在番を命ぜられたのが播州赤穂の城主浅野内匠頭、家老は大石内蔵助でした。元禄十四年に有名な江戸城松の廊下での刃傷事件が起こり、浅野家がお家断絶となつた因縁深いお城です。



瀬戸大橋

以上、ご紹介した以外の場所、特に、美作地方は次の機会がありましたら紹介したいと思います。

フォト・エッセイシリーズ ②

私の選ぶ清瀬十景

粕川偉三男（昭48年政経）

この会報が皆様のお手元に届くころには桜が散り始めているかもしれません。

シリーズ第二回の企画として清瀬の桜を訪ねてみたいと思います。

(四)「白田の桜」（中里・下宿）

桜のシーズンになると開花情報とにらめっこをして毎年落ち着かない日が続きますが、毎年白田の桜からスタートします。賑わう日中のお花見も素晴らしいのですが、夜明けの桜は又格別です。静かに明けて行く空に、桜の

色が徐々に濃くなつていきます。橋の上から眺めるもよし、川の反対側から眺めるのもよし、桜の下を見上げながら散歩するのも素晴らしいひと時です。夕焼けをバックの桜も風情があります。また、雨の日の桜は一服の絵となり風情が増します。



(五)「金山公園の滝桜」(中里)

金山公園にある「三春の滝桜」の子孫も見逃せません。成長途上で枝振りも立派になり桜の内側から見る景色も一興ですが、枝を折らぬようご注意ください。池に映り込む桜、逆光の桜等、色々な角度から楽しめますね。



(六)「円通寺・長命寺の枝垂れ桜」(下宿・下清戸)

枝垂れ桜を楽しむのはこの二か所がおすすりめです。円通寺の枝垂れ桜は本堂をバックに眺める桜で心が落ち着きます。精一杯咲く姿は感動ものです。長命寺の枝垂れ桜は鐘楼をバックにダイナミックに枝を広げています。



毎年毎年桜を追っかけていますが、都内で結局のところ清瀬の桜が一番と確信しています。色々なお花見を楽しんでください。花より団子かもしれないませんが、飲み過ぎにはくれぐれもご注意ください。カメラやスマホでお気に入りの桜を撮るのもよろしいのですが、ご自身の目に焼き付けて、記憶の一頁とするのもよいものです。

第五回多摩湖一周ウォーキングを実施

浅井 廣 (昭53文院)

平成二十九年十一月十一日(土)、晴天に恵まれ第五回ウォーキングが実施されました。校友のほか、市内や市外の方々も参加され年々参加者も増えております。

紅葉と太陽の光で輝く湖面を眺めながら談笑しながら

の楽しいウォーキングとなりました。安全を期して保険にも入り看護師も同行したので皆様安心してのウォーキングです。

今回は十二キロの他に六キロのコースも設定しました。

なお、多摩湖一周は五回目となり、今年度は異なったコース設定を検討することになっております。新しい魅力的なコースにしますので多数の方々の参加を宜しく願います。



第九回麻雀大会を開催

福島 寛 (昭37政経)

二月二十七日に、第九回麻雀大会を開催しました。場所は健康麻雀荘「たんぼぼ」で十時スタートです。

我が校友会清瀬地域支部からは五名の方が参加されました。

大会は例によって、六回戦のトータル戦です。一般の方が十一名参加され、十六名、四卓で争われました。

戦況は各卓とも混沌としていましたが、我が校友会清瀬地域支部の穴田



さんが親の倍満を上げるなど、一步リードをされました。最終結果は、第一位が穴田さん、第二位は一般の巨炊さん、第三位は一般の宿谷さんでした。おしくも我が地域支部の和田さんが第五位でした。

市民の方々からも喜んでいただき、次回もぜひ開催をと言う声が沢山聞かれました。どうも皆さまお疲れさまでした。これからも頭の体操のつもりで頑張りましょう。

野鳥観察会で自然に親しむ

中村 曠 (昭36政経)

金山地区野鳥観察会が二月三日開催された。今年は雪が多く登山靴で出発、残雪の柳瀬川沿い遊歩道は歩きにくい。金山公園には既に多くの参加者が集まっており、鳥名チェックのプリントを貰い受付完了。明大校友会からは五名が参加した。主催の「清瀬の自然を守る会」「清瀬稲門会」の挨拶とコース説明の後、参加者約三十名が三班に、我々は第一班。「今年は雪が多く、昨年より鳥が少ないかもしれません。半日を楽しんでください」と出発。コースは緑地公園から調節池を経て柳瀬川沿いを約二時間の散策。先ず「清瀬名木NO四十七」に指定されているヤドリギを発見。柳瀬川にはカワ鶉、池畔には嘴が黄色(夏は黒)のダイサギ、残雪の中にツグミ、公園入り口には群をなしたシジュウカラが可愛い。

リーダーの「セグロセキレイがいますよ」に双眼鏡を構えたものの視力と聴覚の衰え動作も鈍く焦点合わず。金山調節池の水路沿いの土手にはセンダンが繁茂、野鳥の餌になり、伐採せず残している。ピラカンサスの茂みにはカワセミが留まり、大勢のカメラマンが自慢のカメラでシャッターチャンスを待っている。フィールドスコップでカワセミを見せてもらった。

「下の口ばしの赤黄色はメスで黒はオスです」。池の中の微動だにしないコサギは「足先が黄色く、魚をおびき寄せているんですよ」など生態について説明を受けた。調

節池の北側に広がる雑木林は湿地帯、野鳥が好んで飛来するそうだ。土手には実が石鹸代わりになるというサイカチやオニクルミが生えている。

今年見つけた野鳥は二十九種類。来年は多くの鳥が飛来することを期待した半日でした。そして池や水路に繁茂する柳など樹木の剪定、外来種雑草の伐採、除去など野鳥が好む木々の保全活動に努力している「清瀬の自然を守る会」に感謝した日でもありました。



野鳥観察会参加の皆さん

石田波郷俳句大会報告

梶谷 榮吾(昭46法)

◎第九回石田波郷俳句大会無事終わる

第九回石田波郷俳句大会は平成二十九年十月二十九日(日)に開催されました。第九回大会には、一般の部二〇〇句超、ジュニアの部七〇〇句超、新人賞に八九編(二編二十句)と多くの応募があり、この大会が全国的に知れ渡っていることを感じました。

一般の部では、紫紺句会の合評句会でもお馴染みの清瀬句会の上田公子さんの「詠はねば命救ひゆく波郷の忌」が栄えある大賞に輝きました。紫紺句会からは残念ながら今回の入選者はいませんでした。主催者である清瀬市石田波郷俳句大会実行委員会には、我が校友会から大山恭子副会長と実行委員に二名が参加しているほか、この大会の成功に向けて応募句のパソコン入力作業、俳句出前授業のアシスタント、当日の大会運営などに校友の皆

さんが協力しました。



【写真上は、ジュニアの部の表彰式、写真下は大会後の懇親会における清瀬明大校友会と清瀬稲門会の皆さん(写真提供 清瀬稲門会 庄村 勝男氏)】

◎第十回石田波郷俳句大会に向けて

第十回大会は、本年十月二十八日(日)に開催されます。実行委員会では現在大会に向けて種々検討を行っています。但し、俳句の募集は七月末日まで行われます。投句料がこの大会の財源となりますので、多くの皆さんの投句をお願いします。

また、市内小中学校の俳句出前授業は、五月から七月まで行われます。俳句の授業のアシスタントを紫紺句会の皆さんには今年もよろしくお願いします。六月後半には「あぢさゝあ吟行句会」を開催する予定です。清瀬駅南口に集合し、清瀬高校中庭遊歩道、あじさいロード、中央公園波郷句碑、東京病院周辺などを吟行し、その後アミューホールにおいて句会を開催します。ぜひご参加ください。

紫紺句会報告

榎谷 榮吾(昭46法)

紫紺句会は平成二十六年六月の発足以来毎月第三日曜日に定例化して開催し、三月に第四十四回を数えました。この一月より東久留米市の校友夏目忠さんが加わり盛会になっていきます。また、二月の句会より投句三句のうち一句は兼題の句を投句することとし、句会の楽しみも増えたように思います。

十二月二十六日(火)の忘年句会には清瀬句会より五名(高崎さん、淵上さん、細山さん、山尾さん、吉澤さん)、ひなどり句会より二名(大後さん、米山さん)の参加を得て総勢十九名(欠席投句二名を含む。)の句会となりました。

俳句歴の長い女性七名の参加によりいつもの紫紺句会とは異なった雰囲気のもとでも楽しい忘年句会となりました。

句会後は十七名参加して「はなの舞」にて反省会兼忘年会を開催、名句を肴にして楽しい会となりました。今夏八月十九日(日)開催の紫紺句会でも他の句会の皆さんにも参加していただき好評句会を開催する予定です。

また、句会では高得点句に道子先生と紫紺句会提供の賞品を用意しましたが、受賞者は次の皆さんでした。今回は紫紺句会の皆さんが好成績を収めました。



受賞句(敬称略)

十一句句

米洗ふ水の尖りや冬に入る

五句句

ひとり居の聖橋に銀の天使舞ふ

四句句(五十首順)

今宵また偲ぶ友あり冬桜

締め三本おかも笑顔お西さま

糟糠の妻の皺の手毛糸編む

庭にみる小さき母の背石蔭の花

年ごとに手抜き多かり煤払ひ

払曉の靄置き去りに冬の川

東京の在に住みけり葱畑

【紫紺俳壇】



桜しべ降るや箒目憚らず

幼子の影踏み燥く初詣

立春に赤子にぎはすエレベーター

水仙やおちよぼ口して並び居り

聖夜劇マリオネットの指遣い

初点前妻愛用の黄瀬戸碗

太か幹年輪重ね春を待つ

曙光にキラリほころぶ迎春花

地方紙にくるまれ野路の蔭のたう

羊日や燃える男の炎消ゆ

芋がらや靴ひものごと妻の里

鯨鯨の形に逆らふ旨き味

平昌のアリラン聞こゆ春炬燵

自転車の籠一杯の雪となり
青い目も見よう見まねの初神くじ

佐藤 房夫

米山 恵子

穴田 作道

斎藤 強

佐藤 房夫

高崎 啓子

中村 曠

松本 幹司

山尾久美子

穴田 作道

粕川 健二男

粕谷 彌太郎

斎藤 強

佐藤 房夫

島崎 光

中西 宣一

中村 曠

夏目 忠

西尾 修一

福島 寛

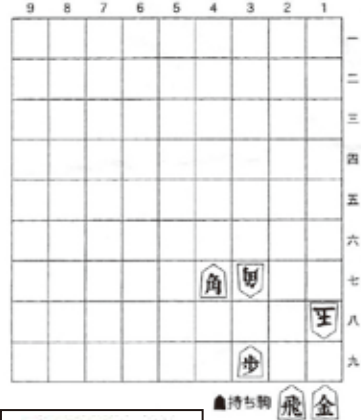
福田 信夫

榎谷 榮吾

松本 幹司
丸山 隆

チャレンジ!

詰将棋(五手詰)



詰将棋解答
 1六飛
 2九金
 3八角までの5手詰

訃報

故鈴木 秀一様(昭29法)

平成二十九年十月二十一日逝去(享年八十七歳)

故山口 昇様(昭30商)

平成三十年二月十六日逝去(享年八十五歳)

お二人は清瀬地域支部の設立準備から係わられ、設立後は副支部長として会の運営・発展に尽くされました。

心よりご冥福をお祈り申しあげます。



みんなの情報コーナー

一、清瀬地域支部イベント

①清瀬地域支部年次総会

- ・日時 五月十九日(土)午後一時三十分～三時三十分
- ・会場 清瀬市生涯学習センター六階(アミュー)
- ・懇親会 総会終了後、南口「魚久」(会費三千元)

二、校友会本部イベント

①第五十四回全国校友大会石川大会

- ・日時 九月三十日(日)
- ・会場 石川県立音楽堂(記念式典・記念講演)
- ・会場 ホテル日航金沢(懇親会)

②第二十一回ホームカミングデー

- ・日時 十月二十八日(日)
- ・会場 駿河台校舎
- ・招待対象は(昭33、43、53、63、平10、20年卒業)の皆様です。

三、多摩支部イベント

①歴史探訪「矢川・谷保ハケ下湧水ウォーク」

- ・主催 国分寺地域支部
- ・期日 平成三十年四月十八日(水)小雨決行
- ・申込・照会 清瀬紫紺ネットメール

◎会員募集中!

現在登録会員数 七十五名
年会費 二千元

◎会費納入のお願い!

本会報は皆様の会費で作成しています。会費納入にご協力ください。



清瀬地域支部の情報は

校友会多摩支部ホームページ

<http://www.mei-ji-tama.net/kiyose-top.html>

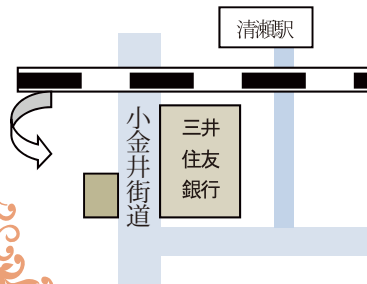
清瀬紫紺ネットメール

情報・連絡段として利用・希望者はメールください
kiyose-event@mei-ji-tama.net

あなたの街の

村越自転車店

〒204-0022 東京都清瀬市松山2-3-3
Tel042-491-0349
村越 勝重(S50工)



POSターミナルの導入・開発支援など

有限会社 マイテック

粕谷彌太郎 (S28政経)

本店

〒204-0022 清瀬市松山1-27-1
Tel042-492-0611 Fax 042-495-8357

本社事務所

〒113-0033 文京区本郷2-40-7
YG30ビル 6F

Tel 03-3813-7761 Fax 03-3813-7763
URL <http://www.a-mytech.co.jp/>

日本料理 魚久

お祝い宴席ほか各種宴会を
ご用意しております

清瀬駅南口 徒歩1分
清瀬市松山1-9-4
Tel.050-5788-8323

営業時間 平日11:30～14:00
16:30～22:00
土日11:30～22:00

定休日 月曜日

そば処 玉川

そば・うどん・丼もの
配達いたします
宴会承ります
(忘年会・新年会・食事会等)

そば・うどんは自家製麺です
揚げたて天ぷらの美味しい店

営業時間 11:00～20:30

定休日 水曜日

住所 清瀬市上清戸2-6-28
(郷土博物館となり)

Tel. 042-493-3890



清瀬南口店

ご宴会は50名様まで
お受けいたします

清瀬駅南口 徒歩1分
清瀬市松山1-11-12
清瀬駅前ビル2F
Tel.042-496-0253

営業時間 16:00～翌3:00